

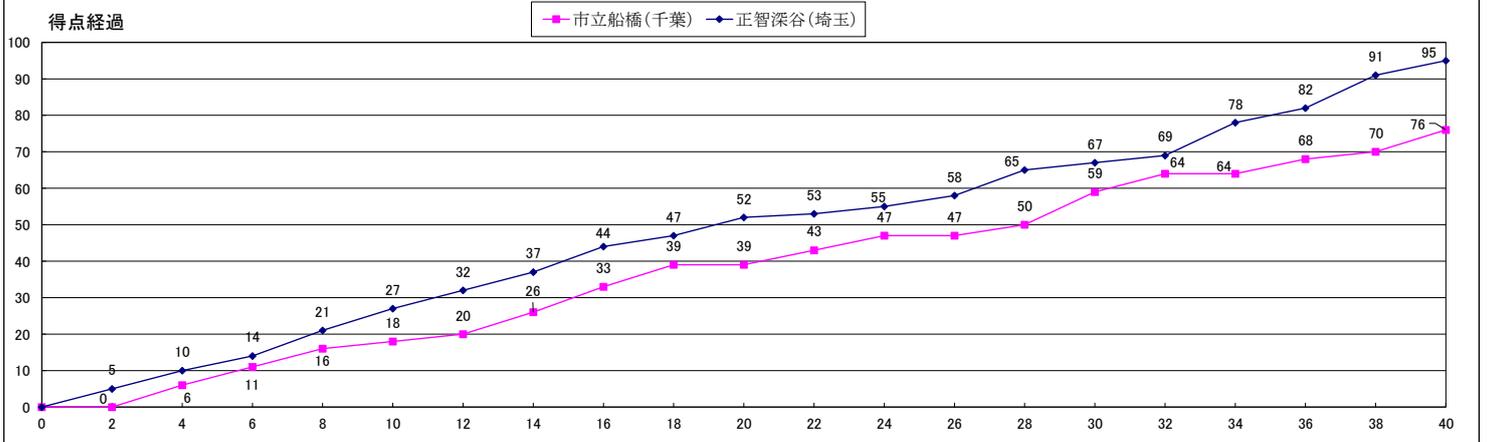
試合No.	B1	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会									
		期 日	令和5年2月11日(土)				会 場		小田原アリーナ			
男子1回戦	CC	岩井 遥河			U1		秋葉 智		U2		下島 拓	
		チーム名				1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score
		正智深谷(埼玉)				27	25	15	28			95
		市立船橋(千葉)				18	21	20	17			76

正智深谷(埼玉)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
三村 蓮	4																	
鶴岡 柊斗	5																	
大須賀 爽蒼	6																	
市川 大徳(CAP)*	7	7	0	1	0%	2	5	40%	3	4	75%	0	1	2	1	0	2	1
秋徳 将斗*	8	31	4	12	33%	6	13	46%	7	9	78%	2	9	2	0	1	1	1
グビノゲン オサゼ デロック*	9	30	2	2	100%	9	16	56%	6	8	75%	3	4	2	0	0	2	2
飯島 康介	10	4	0	2	0%	2	2	100%	0	0		0	3	1	0	0	1	2
山田 仁真*	11	6	0	3	0%	3	7	43%	0	1	0%	2	4	2	1	1	0	3
河野 奏真	12	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	3	4	0	0	2	2
堀岡 ドミニク 蓮	13	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
島野 駕久	14																	
中武 優羽*	15	13	0	0		6	8	75%	1	1	100%	3	6	0	1	0	2	4
田巻 翔太	16																	
工藤 崇真	17																	
山下 尊生	18																	
コーチ 成田 靖																		
合計		95	6	20	30%	30	55	55%	17	23	74%	10	31	13	3	2	10	15

市立船橋(千葉)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
ストーン ライオン デイビッド シロフ	0	0	0	0		0	0		0	0		0	1	2	0	0	0	0
平井 琉斗*	2	12	0	0		5	8	63%	2	3	67%	2	3	3	3	1	4	4
菊田 瑛暉	3	3	1	6	17%	0	4	0%	0	0		2	2	0	0	1	0	3
諏訪 航平	5	1	0	1	0%	0	3	0%	1	2	50%	2	3	2	1	0	3	5
鈴江 昭人(CAP)*	9	25	4	12	33%	6	10	60%	1	3	33%	1	5	2	1	0	3	1
早乙女 樹生*	11	0	0	0		0	0		0	0		0	3	0	1	0	1	1
白石 楓*	12	8	0	0		4	5	80%	0	0		4	3	0	1	0	1	2
高木 祐	18																	
斉藤 海惺*	24	17	2	9	22%	2	11	18%	7	8	88%	2	3	0	2	1	4	1
吉野 結都	34																	
長島 昊大	46	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
有村 駿之介	51																	
名古曾 唯斗	77	7	1	1	100%	1	2	50%	2	3	67%	0	1	0	0	0	0	0
川上 颯太	81	3	0	0		1	3	33%	1	2	50%	0	1	2	1	0	1	2
牧 祐獅	91																	
コーチ 斉藤 智海																		
合計		76	8	29	28%	19	47	40%	14	21	67%	13	25	11	10	3	17	19



戦評

1Q 両チームマンツーマンでスタート。立ち上がり正智深谷#8の速攻からのダンクシュートと3pts、#15のバスケットカウントの連続得点で8-0となるが、市立船橋も果敢なドライブからチャンスを作り、#24の3ptsで追い上げる展開になる。しかし、正智深谷はリバウンドを抑え、#9のドライブやポストプレーなどで点差を広げ、27-18で1Q終了。

2Q 立ち上がり正智深谷は#8の3pts、#15のポストプレーで点差を広げていく。市立船橋は正智深谷の激しいディフェンスとリバウンドに得点が止まってしまふ。残り5分となったところで市立船橋はオールコートディフェンスで相手のミスを読み、速い展開に持ち込む。早い展開に正智深谷はファウルが目立ち、フリースローを与えてしまい、正智深谷#15は3つ目の個人ファウルでベンチに退く。市立船橋は点差を1桁に持ち込むが、2Q終了1分前から逆に正智深谷が#8のブロックショットなど激しいディフェンスから速い展開を作り52-39と点差を広げ2Q終了。

3Q 後半も両チームともマンツーマンで、激しい攻防が続く。その中でも市立船橋はオフェンスリバウンドを拾い得点につなげ、残り5分で8点差に縮める。正智深谷はタイムアウトを取り、タイムアウト明けに正智深谷#9の3ptsで点差を広げる。市立船橋は交代して入った#77の3pts、#9の3pts、正智深谷は#15のリバウンドからの得点で一進一退の攻防になる。終了間際に市立船橋#77のシュートが決まり、67-59と市立船橋が点差を縮め、3Q終了。

4Q 立ち上がり市立船橋#3の3ptsが決まり5点差。しかし、正智深谷#9のポストプレーにたまたま市立船橋#5がファウルをして残り9分で個人ファウル4つ目になりベンチに退く。正智深谷は#9にボールを集めオフェンスを組み立てていく。その中でも正智深谷#7のドライブインシュートや#8のステップインシュートが決まり、残り6分で14点差まで広がり、市立船橋はタイムアウトを取る。その後も速い展開の攻防が続く、残り4分で市立船橋#5が5ファウルで退場してしまふ。市立船橋はタイムアウトを取るが流れは変わらず、95-76で正智深谷の2回戦に駒を進めた。